

# TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成20年5月9日 第12号  
浜田市農林業支援センター

## はじめに

農繁期の季節となりました。各農家の方々は猫の手も借りたいような多忙な毎日だと思います。この時期は農機具等による事故が多発する時期でもあります。一日の作業においても無理のない計画をし、休憩をとりながら作業をすることが肝要と思われます。

これから収穫時期までの間は、健康で安全第一を心掛けて頑張りましょう。

(浜田市農林業支援センター長 齋藤)

## 目次

1. 各支援チームの活動について
2. 「株式会社グリーンはーと」設立総会について
3. 有機農業実践セミナーについて
4. 「浜田市いちじく生産組合」について
5. 今後の行事予定

## 1. 各支援チームの活動について

### ★ 新規就農支援チーム (担当: <sup>かわうち</sup>河内・<sup>ささもと</sup>佐々木)

### … シリーズ企業参入についてその3

企業参入により成功している事例を見ると、共通しているのは、**強力なリーダーシップと事業化に向けた戦略チームを持っていること**です。支援センターでは、企業の相談内容に応じたチームを市・県・JAで組織し、対応しています。

このチームでは、相談の段階に応じ、メンバー構成を調整して対応しています。

- ビジョンを描く段階 … 作物の選定、先進事例調査など
- 事業化の段階 … 土壌分析、農地の選定、技術習得、経営試算検討など
- 参入段階 … 投資額の決定と制度資金活用、販売戦略、技術者確保など

企業参入を目指す企業は、ワンフロアーを活かして対応しますので、支援センターにご相談ください。

### ● 認定農業者支援チーム (担当: <sup>まえばら</sup>前原・<sup>まつい</sup>松井)

今回は、旭町市木で**バラ**(養液栽培)の経営に取り組んでおられる認定農業者、**青葉真さん**を紹介します。

青葉さんは、同じ旭町内でバラを栽培する農業者や全国の先進農家との交流を通して**最新技術・新品種の情報**を収集しながら、地域の条件に合った技術の習得に励んでこられました。

また、所属する「**旭町バラ産地協議会**」では、バラを贈る習慣を広めて消費拡大を図るため、**父の日に合わせて浜田市長と旭自治区長にバラの花束をプレゼント**されています。

家族労働力と地域内での雇用を確保しながら、**効率的な作業体系と技術向上により「ゆとりある農業」**が実現できるよう、支援センターも応援していきます!!



▲ 青葉真さん(バラ栽培ハウス前にて)

### ■ 集落営農組織支援チーム (担当: <sup>つかもと</sup>塚本・<sup>もりい</sup>森井)



浜田市金城町内で活躍している**青年農業者グループ「ACスマイル」**の**定期総会**が、4月21日に「川根荘」(金城町波佐)で開催されました。

当日は県西部農林振興センター浜田農業普及部の藤原部長をはじめJAいわみ中央の佐々木営農経済部長、支援センターの齋藤センター長など、たくさんの来賓の方々が出席され、藤原部長からは「**将来、食糧確保が難しくなる時代を迎えることが予想され、健康・安全嗜好もますます要求されるが頑張っ**て欲しい」との激励がありました。

「ACスマイル」の会員は現在11名。海外研修や経営実績検討会、県外青年農業組織との交流会など、幅広い活動を展開されています。

## 2. 「株式会社ぐりーんはーと」設立総会について

石見地域の有機野菜生産者で作る「いわみ地方有機野菜の会」(以下、有機の会)では、安全・安心で美味しい野菜を消費者の皆様へ届けるため、会員同士協力しながら生産技術の向上と販路開拓に励んでおられます。

会員数・生産量ともに順調に成長を続ける有機の会ですが、生産者自身が役割分担して出荷・販売業務を行ってきたため、会全体の取扱量が増えるにつれて生産体制に専念できないという課題を抱えるようになりました。そこで、平成20年4月1日、会全体の流通・販売部門に特化した販売専門会社「株式会社ぐりーんはーと」が会員全員の出資により設立されました。

「ぐりーんはーと」では、流通・販売業務だけでなく、将来的には土壌分析とそれに基づく施肥設計を実施するなど、有機栽培の知識と技術を活かした経営の多角化も目指されています。



## 3. 有機農業実践セミナーについて

食の安全・安心、環境に配慮した農産物に対する関心が高まる中、支援センターでは、浜田市雇用構造改善協議会と連携し有機栽培米を地域の強みとして位置付け、生産技術と食味の向上を通して消費者が求める商品づくりについて学ぶ『有機農業実践セミナー』を開催しています。

4月13日(日)に開催した1回目のセミナーには、生産者や関係者を含め40名の参加がありました。当日は、講師である(株)ジャパンバイオフィームの小祝政明代表取締役から、稲の生育や光合成の仕組みについて解説を受けた後、実践圃場に出向いて土壌分析や施肥設計のコツを教えてくださいました。

このセミナーは11月まで計7回開催し、次回は5月23日の予定です。どうぞご参加ください。



## 4. 「浜田市いちじく生産組合」について

4月24日、浜田JA会館にて「浜田市いちじく生産組合」の臨時総会が開催され、12名の栽培者で構成されていた組合に新たに22名の方が加入されました。続いて開かれた生産者大会では、県農業技術センターから講師を迎えて、栽培管理と病害虫防除に関する指導を受けられました。同組合は今後、栽培技術の向上や集出荷体制の確立といったテーマに取り組み、古くから「長浜唐柿」と呼ばれ親しまれてきた浜田いちじくの復興を目指されます。

## 5. 今後の行事予定

▶ 〇5月23日(金) 午前9時～午後3時 有機農業実践セミナー(第2回) 会場: 弥栄会館

### ■■ 編集後記 ■■

4月から支援センターのメンバーに加わり、『TEGOネットだより浜田』の編集を担当させていただく松井と申します。

さて、去る4月25日、当センターが事務局を務める「浜田市農業担い手育成総合支援協議会」の通常総会が開催され、平成20年度の事業計画について委員の皆さんの承認をいただきました。私はその準備に追われ4月はあまり現場に出掛けることができませんでしたが、これからは積極的に外に出て農業者の皆さんと話をしたり、農地や作業の様子を見せていただきたいと思います。楽しみにしています。

これからお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします!

○当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様へ配信しています。  
○ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発行元 浜田市農林業支援センター TEL: 22-3500 FAX: 22-3477  
E-mail: hama-nou-shien@bz03.plala.or.jp